

ACDelco

Automotive Parts

海外で信頼と実績のある車両盗難防止装置 「ACDelco イモビライザー」。ゼネラルモーターズが採用、 そのセキュリティーは高く評価されています。

エンジンをかけられるのは、あなたの電子カードキーだけ。「イモビライザー」は、高度に暗号化された盗難防止システムです。

エンジンはかかりません。

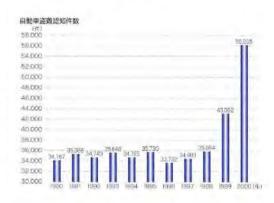


- 忘れがちな人でも安心。 キーをOFFにするだけで、30秒後、自動的にイモビライザーがON。 あなたはキーを抜いてクルマを離れるだけ。たとえイグニッションを直結にされても
- 始動する前にわずらわしい操作不要。 電子カードキーをリーダーに近付けて、サッと認証させるだけ。 その時「電子音」が鳴り、20秒以内にイグニッションキーを回し始動。 事前の暗証番号入力など一切不要です。
- クルマは1台。でも、電子カードキーは家族みんなに発行。 暗号化された電子カードキーが標準で3個付属。ご家族での使用や予備としてご利用ください。
- 取付けはカンタン。日本車・外車を問わず装着可能。(-部車両を除く) 通常、取付け作業は約1時間。一部日本車および米国車、1997年以降のヨーロッパ車を除き、 ほとんどに装着できます。装着については、本品をお求めのディーラー、販売店にお申し付けください。



愛車の盗難防止対策は、欧米では常識化。 今後日本市場においても、「自分のクルマは、自分で守る時代へ」。

- 年間56,000件以上*。近年、日本でも急増する車両盗難事件! 2000年には、ついに盗難件数が対前年比で約30%増。そのうち検挙されたのはわずか20%余り。 車両の盗難は、もう他人事ではありません。※「犯罪統計資料(2000年))対験がより。
- 実に、盗難車の80%以上*がカギを掛けていたという事実。 大多数のオーナーが「鍵をかけたから大丈夫!」と思っていたわけですが、日本でも自分のクルマは 自分で守る時代が来たと言えるでしょう。※「(社)日本損害保険協会調べ(2000年3月)」諮離車の84.2%が施錠。
- ヨーロッパ車では標準装備の盗難防止装置「イモビライザー」。 自動車盗難の先進国ヨーロッパでは、1997年の新型車から全車イモビライザー装備を義務化。 イモビライザーへの信頼の高さが伺えます。



【注意】正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。なお、この製品は盗難の被害にあわないことを保証するものではありません。



車両盗難防止装置 イモビライザーのお求めは…